



マジックを披露。各学年ごとに1時間目から4時間目までの時間をマジックワールドへ引き込んでいました。

1時間あたり10種類ものマジックは、まさに不思議が不思議を呼ぶ展開。目の前で繰り広げられるマジックに、目を真ん丸くさせた子どもたちからは歓声が上がります。中には「今日の授業は6時限までマジックがいい!」という子どもの声も聞こえました。子どもたちにとって、大変心ときめく一日になったようでした。



『現役東大生！母校でマジック!』

9月19日(水)、大崎小学校で本格的なマジックショーが行われました。

マジックを披露したのは、8年前に大崎小学校を卒業して、現在、東京大学に在学している入江田翔太さん。夏休みで帰省中、保護者の中から「マジックを学校でしてもらいたい」との声が上がり、後輩たちのために一肌脱いだものです。

これまでも、完全学校週5日制対応事業の「キッズセミナー」などでマジックを行っていた入江田さん。子どもたちを前に慣れた様子で次々と摩訶不思議なマ



『持留小学校新校舎見学会を開催』

9月13日(木)、現在、建設中の持留小学校新校舎の現場見学会が行われ、地域住民や関係者など、約70人が参加しました。

新校舎は、全国でも珍しい「サミットHR工法」を採用し、杉をふんだんに取り入れた建物になっていて、夏は涼しく、冬は暖かいという利点があり、また、耐震性にも優れているということです。杉の香り漂う校舎は学び舎としてはもちろん、地域の交流の場としても大いに活用されることでしょう。

『下持留子ども会が敬老の日で 団子作りを実施』

9月16日(日)、下持留子ども会が敬老の日になんで、持留地区農業構造改善センターに地元のおじいちゃん・おばあちゃんを招待して、敬老の日を祝いました。

子どもたちは、きな粉餅やよもぎ餅をつくり、集まった人たち62人にプレゼントしました。また、みんなでジャガイモを使ったゴルフや空き缶を紐で釣るレクリエーションをして楽しみました。

おじいちゃん、おばあちゃん、いつまでも元気で頑張ってください。

